

飯豊連峰 内の倉川 七滝沢

2008/9/27 ~ 9/28

L.菊地、白土、齋藤、奥平(記)

今年は回数が少ないが、その分行きたかったところへ行ける予定が多い。七滝沢も一度メンバーが蜂に刺されて敗退して以来のあこがれの沢だ。下山予定の神社に自転車をデポ(菊地車、いつものパターンですね)内の倉林道を歩くと、敗退してしまった時のことをなんとなく思い出す。9時過ぎ、沢に入る準備を済ませて増水した沢をスクラム渡渉。こんなことをする沢ではないイメージだけど、今日は前回より水が多いようだ。釜をへつたり小さく巻いたりして11時、三つ目の大きな釜のところで菊地さんがこの釜への落ち口5mほどの落差をシュリングアブミで越えようとチャレンジ。足がシュリングに入りすぎて抜けず、かえって困難な状態になるも、やり直して越える。前からシュリングをもらって私も越えてみたが水量が多くてこういうときは難しい。しばらくして七滝前へ。「わあ」とか「すげー」とか掛け声をかけつつそばを巻きながら皆写真を撮ったりしている。本当は何段で何メートルあるのだろうとメンバーが素直に感情表現しているところ、私は「昔の人は七段以上をたくさんの意味で使っているんだよ」とか適当な応対で合わせて、感情表現が下手なのをごまかす。

12時少し前に滝の上へ。岩が多い所を右から巻きながら奥の七滝前へ。ここは先の七滝のように垣間見ると違い、滝の全貌が見通せる。どのみち高巻きなので何メートルかは書かない。左から高巻く。高巻きを終えた後の4段滝は小さく巻いて登れる。岩を越え、滝を右から登り、廊下状を歩いて行くとテン場適地に出た。先行パーティが左の適地からすでに狼煙を上げていたので、右側の台地に

テン場をとる。時折降る雨を菊地さん持参のブルータープで除けられたため、快適に焚き火をすることができた。

翌朝8時前に出発。昨日と違い、快適に登れる手頃な滝が続く。箱淵は適当によけて、たまに中央突破したり、階段状の滝を少しシャワーで登る場面もあったが特に不快というほどでもない。13時少し過ぎて稜線に出た。登山道では結構ビシッとときまった二王子登山者に何人も出会い、こちらのボコな恰好に多少気が引ける。有名登山メーカーのパンツをはいているときに決まてできるマタズレに四苦八苦しながら、気持ち良くとのったスギ林を抜けて神社に出る。神社では地元の子供達が先生に引率されて順々に下山しており、集まった子供たちに豚汁が配られたりしていてちょっと賑やかな良い雰囲気になっていた。

コースタイム: 9/27 8:10 出発 ~ 9:15 スクラム渡渉で対岸から入渓 9:45 ~ 釜淵あるが容易 ~ 11:00 釜、やや難、シュリングアブミで越える 11:10 七滝前 ~ 11:50 滝の上 ~ 12:30 奥の七滝前、左から高巻き 14:45 4段の滝前 ~ 15:00 小さく巻いて滝の上 ~ 16:45 BP 着

9/28 7:50 BP 発 ~ 8:05 滝7m ~ 8:30 箱淵、左から高巻き ~ 9:15 ~ 登れる滝の連続 ~ 10:55 二又 ~ 11:40 奥の二又 ~ 12:05 階段滝シャワーで越える ~ 13:15 稜線上

地形図: 1/25000 二王子、上赤谷